

【弾性ストッキングの着用方法・足運動について】

[エコーミークラス症候群予防のための下肢運動と弾性ストッキングの着用方法のビデオ - 日本静脈学会 \(js-phlebology.jp\)](https://www.js-phlebology.jp)



クリックしてください。

日本静脈学会のHPへ移行します。

動画での説明などがあるため、事前にご確認いただけると幸いです。

※ストッキング指導について、全スタッフができた方が良いとの意見があり、事前にご確認ください。

【超音波装置の使用方法】

Canon Viamo sv7の使用方法



クリックしてください。

https://jp.medical.canon/products/Ultrasound/viamosv7_manual#ytModal

上記URLへ飛びます。

動画での説明などがあるため、事前にご確認いただけると幸いです。

※当日の装置とは、異なる可能性が大いにあります。

ポータブル装置の、参考程度にご視聴ください。

【コバスh 232 プラス使用方法】

測定時間: 8分

①



1) 検体の準備

ヘパリン添加静脈全血を使用してください。

②



2) 検体の準備

検体のうち150 μ Lを、カーディアックシリンジ、または150 μ Lを定量可能なピペットに採取します。

③



3) 検体の滴下

装置の電源ボタンを押します。

④



4) 検体の滴下

「測定」ボタンを押します。

⑤



5) 検体の滴下

患者IDを入力します。(ID入力設定をしている場合)

⑥



6) 検体の滴下

テストストリップを挿入します。

⑦



7) 検体の滴下

測定部分が加温されます。

⑧



8) 検体の滴下

5分以内に検体を滴下し、チェックボタンを押します。

9) 検体の展開

検体展開中。

⑩



10) 検体の展開

展開が正常に終了すると、カウントダウンが始まります。

11) 検体の展開

カウントダウン終了後、測定結果が表示されます。

測定範囲: 0.1~4.0 μ g/mL